

ボランティア「チームマナビィ」 アンケート結果



第 21 回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉 2009」は、県内全域で史上最多となる 22 万 3 千 9 百 9 十人の参加・来場があり、盛会のうちに終了いたしました。これも、ボランティア「チームマナビィ」の皆様の御協力の賜と厚くお礼申し上げます。

また、ボランティアの皆様には、御多忙の中、本アンケートに御回答いただき、改めて感謝申し上げます。

I 調査の趣旨

このたび、県実行委員会事務局では、今後の事業企画や官民協働の検討資料にしたいと考え、大会を支えてくれたボランティアの方々を対象にアンケート調査を実施しました。

II 調査の方法

1 内容（調査項目）

- (1) ボランティア「チームマナビィ」の募集は何で知りましたか？（複数回答可）
- (2) ボランティア「チームマナビィ」に参加しようと思ったきっかけは何ですか？
（○は 1 つだけ。複数該当する場合は、最も強く思ったものに 1 つ○をつける。）
- (3) あなたは、PR キャンペーンに「チームマナビィ」として参加しましたか？
- (4) PR キャンペーンに「参加した方」にお聞きします。
 - ①一番印象に残った PR キャンペーンはどこのキャンペーンでしたか？
 - ②参加して「良かったこと」や「改善した方がよいこと」があればご記入ください。
- (5) PR キャンペーンに「参加しなかった方」にお聞きします。
 - ①参加しなかった理由を教えてください。（複数回答可）
 - ②多くの方が、PR キャンペーンに参加できるようにするには、どのようにしたら良いでしょうか？あなたのお考えをご記入ください。
- (6) まなびピア大会期間中に業務を担当してどのような感想をお持ちですか？
- (7) 今後もイベントボランティアに参加したいですか？
- (8) イベントボランティアに「参加したい方」にお聞きします。
やってみたいボランティア活動はどのようなことですか？（複数回答可）
- (9) まなびピアで実施した事業の中に、あなたが興味を持ったものは何ですか？（複数回答可）
- (10) その他、「まなびピア」の全般、生涯学習について、御要望や御意見がございましたらご記入ください。

2 調査対象

アンケートは個人登録の方を中心に、まちづくりボランティアと埼玉県家庭教育振興協議会、NPO 法人子育てネット行田に回答用紙を配付し（267 名）、120 名の方に御回答いただきました。

3 期日

平成 22 年 2 月 8 日～3 月 10 日

4 調査方法

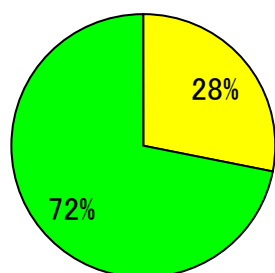
個人登録者：回答用紙を郵送→郵送（返信用封筒）にて回答

団体登録者：事務局に送信（電子メールまたは F A X）

→F A X 若しくは事務局が取りまとめ郵送にて回答

Ⅲ 回収結果

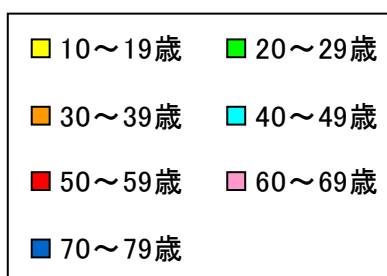
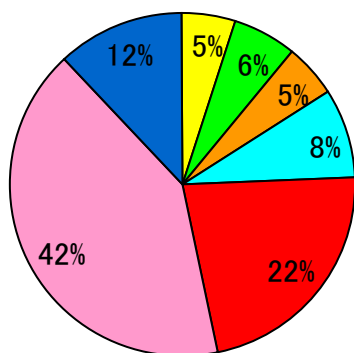
1 性別



回答者の7割が女性となりました。ちなみに登録者における女性の割合は、66%でした。

【図1: アンケート回答者の性別 (n=111)】

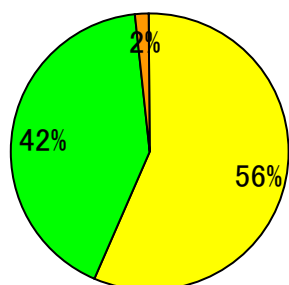
2 年齢



回答者の60代が4割、次いで50代は2割。登録者は高校生が多いため10代が4.5%でした。

【図2: アンケート回答者の年齢 (n=118)】

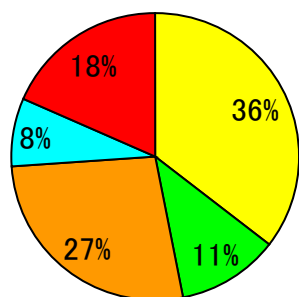
3 今回のボランティア参加形態



回答者の56%が団体参加、42%が個人参加の方でした。ちなみに登録者は団体参加35%、個人参加24%、あとは高校生でした。

【図3: アンケート回答者: ボランティア参加形態 (n=117)】

4 ボランティアの参加回数



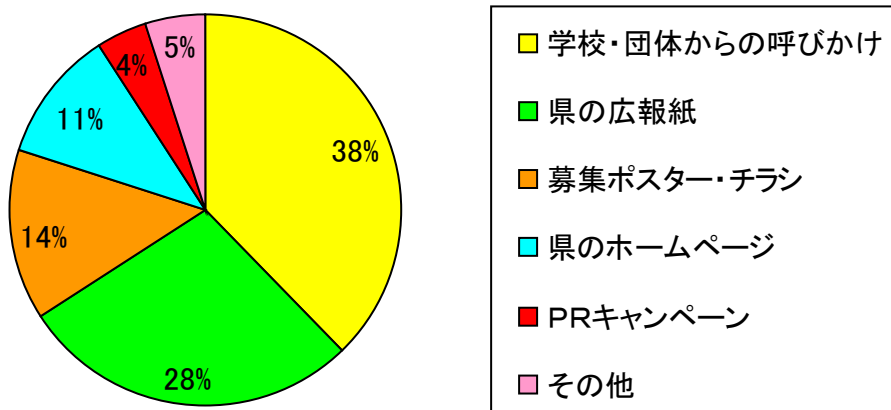
「初めて」の方が4割弱と最も多く、次いで「3～5回」が3割でした。

【図4: アンケート回答者: ボランティア参加回数 (n=115)】

IV 集計結果

1 「チームマナビィ」への参加

(1) 「チームマナビィ」の募集を知った手段



【図5:「チームマナビィ」の募集を知った手段 (n=164)】

「ボランティア『チームマナビィ』の募集は何で知りましたか？」と聞いたところ、回答者に団体登録の方が多くありますが、「学校・団体からの呼びかけ」が最も多く、次いで「県の広報紙」という結果になりました。その他にも「知人に誘われた」や「親や県職員、小学校からの紹介」が挙げられており、身近な方からの情報、いわゆる口コミが参加のきっかけになっているようです。

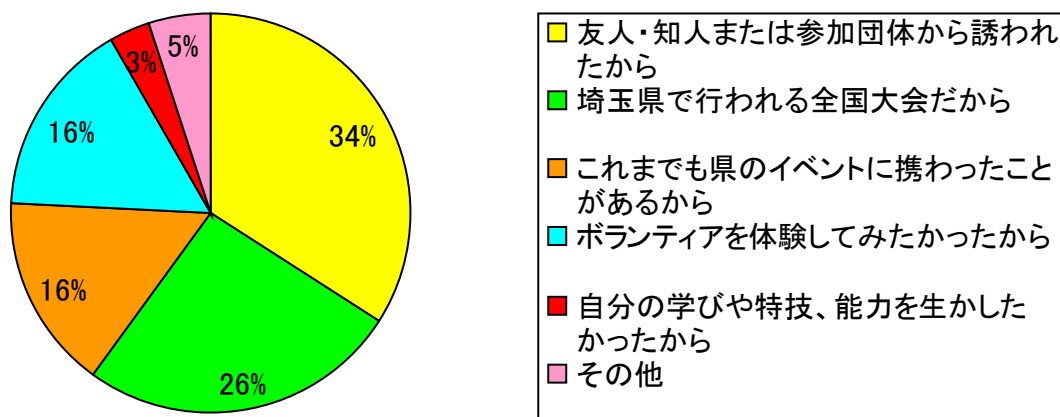
また、県の広報紙、ホームページ、募集ポスター・チラシを含めた広報媒体によるものを合わせると過半数(53%)を超え、有効な募集方法であったようです。

●その他

- ・知人に誘われたから
- ・親の紹介
- ・県職員からの紹介
- ・小学校から配布され、子どもと参加しようと思った。
- ・生涯学習のページを検索していたたまたま見つけた。
- ・以前の仕事の関係で
- ・久喜市生涯学習推進大会にマナビィが来市してくれたから
- ・チームマナビィの呼び方が可愛いから

☆意見：募集チラシは博物館、公民館など広い範囲に置いた方がよいと思います。

(2) 「チームマナビィ」に参加しようとしたきっかけ



【図6:「チームマナビィ」に参加しようとしたきっかけ (n=120)】

「『チームマナビィ』に参加しようと思ったきっかけは何ですか？」と聞いたところ、「友人・知人または参加団体から誘われたから」が最も多く、次いで「埼玉県で行われる全国大会だから」となっています。身近な方からの呼びかけや大きな大会への従事が、モチベーションのアップにつながったようです。また、「ボランティアを体験してみたかったから」が16%となっており、「まなびピア」をボランティア挑戦のきっかけとした方も少なからずいたようです。

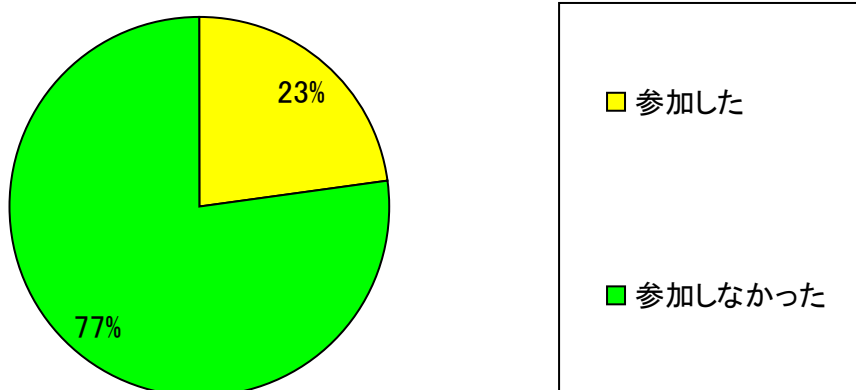
●その他

- ・市の生涯教育活動には、参加していたので、県の関係でも参加してみたかった。まして、全国大会が埼玉で行われるので・・・
- ・生涯学習の推進委員なので積極的に参加した。
- ・大きなイベントのボランティアを体験したかった。
- ・教師を目指す者として、生涯学習のことを知ってもらいたかったし、自分自身もこれを機に多くのことを吸収したいと思ったから
- ・ボランティアを通じて、生涯学習のあり方を学ぼうと思ったから。
- ・所属しているボランティア団体の活動において今回は重要であると考えた。
- ・参加団体のリーダーの呼びかけと共に埼玉県民としての意識の自覚のもとに
- ・何かひとつ人の為になることをしたかったから
- ・前年の福島大会を見学に行った。
- ・昨年度の開催地福島のPRビデオを見て・・・
- ・福島県のフェスティバルを見ていたので身近に思った。

☆感想：大きな（全国）イベントに参加し、最初はとても不安でしたが、当日は楽しく過ごすことができ、良い思い出となりました。研修の時、気さくな上田知事の隣で写真に納まりラッキーでした。

2 PRキャンペーン

(1) PRキャンペーンへの参加



【図7:PRキャンペーンへの参加 (n=118)】

「あなたは、PRキャンペーンに『チームマナビィ』として参加しましたか？」と聞いたところ、キャンペーンに参加していただいたボランティアは、全体の約2割でした。

「まなびピア埼玉2009」の知名度を上げるため、平成20年11月から、着ぐるみ「マナビィ」と「チームマナビィ」でキャラバン隊を組織し、県内各地でPRキャンペーンを展開しました。草の根運動でまなびピアの周知度アップが向上したと考えられます。

(平成21年4月【10%】→平成21年11月【68%】)

(2) PRキャンペーンで一番印象に残ったこと

●プレイベント

PRキャンペーンに参加した方に、「一番印象に残ったPRキャンペーンは、どんなところが印象に残りましたか？」と聞いたところ、100日前キャンペーンや50日前キャンペーンなどのプレイベントや開催直前のキャンペーンについての回答が多く寄せられました。埼玉検定のクイズ大会や大学生、高校生による演奏会などの企画や開催時期が好印象に残ったようです。

(1年前イベント 浦和駅東口)

- ・こんなに关心がない人が多いのかと。1年間でどれだけ広げることができるかと心配になった。

(GW イベント「コクーン新都心・大宮ソニックシティ」)

- ・コクーンでは通行客に呼びかけ以外にもステージに上がりPRすることが出来た。当日責任者の取り計らいに感謝したい。またソニックシティでは、マナビィと子供達とのふれ合いが多く、ゴールデンウィークならではの様子だった。

(100日前キャンペーン 越谷イオンレイクタウン)

- ・埼玉検定記念クイズ大会
- ・観客も多く盛大だった。
- ・ピンキッシュが司会したのが印象に残った。

(50日前キャンペーン 川越・鏡山酒造跡地)

- ・スタッフ(職員・ボラ)の方々の誠実な様子に心を打たれました。とにかく熱かったです。
- ・城西大学附属の高校生をはじめ、いろいろな演奏があったので興味があつた。
- ・イベントの内容が印象に残った。
- ・自分と同じ高校生が多くて、楽しかった。

(30日前キャンペーン イオンモール羽生)

- ・初めて参加したPRキャンペーンだったので。ちなみにその後、一緒にPRキャンペーンを行った方々とまなびピア当日、再会できました。

(20日前キャンペーン イオン与野ショッピングセンター)

- ・みんなと共同作業ができたこと。
- ・なかなか良い企画と思いつつも、折り紙の企画が盛り上がるか不安になりましたが、盛況でした。

(10日前キャンペーン ららぽーと三郷)

- ・一番本番に近いので印象に残っている。
- ・まなびピア大会近づいてきたので来客者も大変反応がよかった。
- ・最後のキャンペーンを実感できた。ピンキッシュのステージ、クイズも良かった。

●市町村キャンペーン

各市町村を回ったキャンペーンでは、キャンペーンをしたときの県民の反応の良さや着ぐるみを着用した方の様子などが印象として残ったようです。

(久喜市中央公民館)

- ・各教室、手作り親子教室、成人教室など、多くの生徒さんでいっぱいでした。職員の勤務ぶりに驚きました。
- ・家族が着ぐるみに入り、自分はその補助をしたので、印象に残っている。

(鴻巣市文化センター)

- ・初めてマナビィの着ぐるみを着ることができたこと。

(ほっと越谷七夕フェスタ)

- ・暑い中、着ぐるみを着ている方が大変そうだった。

(2009バラまつり 伊奈町バラ園)

- ・雨降りの中でしたが来園の方たちが喜んでいただようでした。

(三郷市生涯学習フェスティバル)

・ゆるキャラ大集合ということでいろいろな人の反応があり、バタバタしていたけどやりがいがありました。

(子ども大学かわごえ)

・マナビィの着ぐるみを着ましたが、苦しくて窒息するかと思いました。

(市民まつり)

・ボランティアベストを着て大勢のメンバーと楽しくキャンペーンができたこと。そして、大勢の方々にPRできたこと。

(キャンペーン・・・場所は不明) ・チラシ配りで、多くの方がよく受け取ってくれたこと。

(3) PRキャンペーンに参加して良かったことや改善点

PRキャンペーンに参加した方は、比較的好印象をもたれたようです。しかしながら、生涯学習やボランティアの目的、活動の明確化、加えて雨天時の対応などの問題提起もありました。

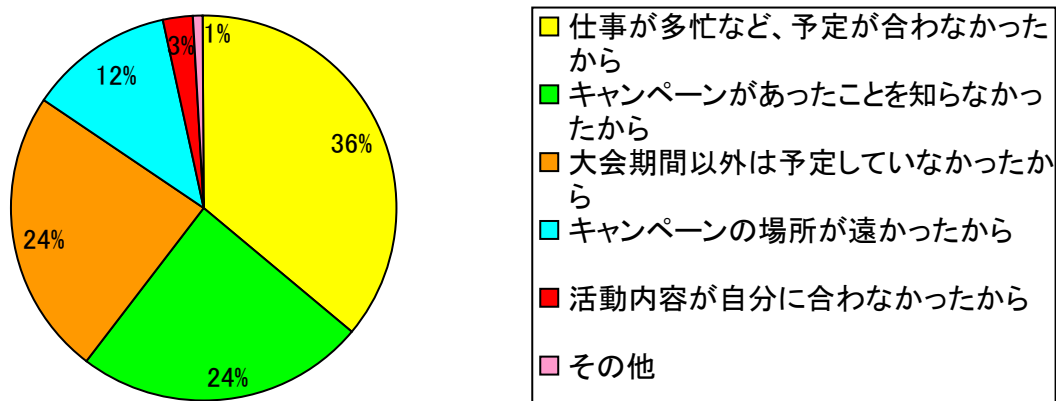
●良かったこと(主な意見)

- ・このような地道なキャンペーン活動が動員数に結びつくのだとわかった。
- ・ボランティアとしての自覚が強くなりました。
- ・全く見たこともない人々と心一つに取り組めたのはよかった。
- ・貴重な体験ができました。何かを学んでいこうと前向きに考えるきっかけとなりました。
- ・県職員の方々は「カタイ」イメージがありましたが、イベントを盛り上げるために活動していることを知り、キャンペーンイベントに参加して良かったと思いました。

●改善点(主な意見)

- ・広報用ティッシュ、チラシ、シール等の配付対象にバラつきがあったので、例えば子どもにはこれを配付する、など決めた方がよかった。
- ・ボランティアの皆さん、やる気満々で参加してくださる方が多いので、配ったりするだけではなく、事前準備など簡単な仕事はお任せしてもよいように感じました。(ティッシュに何か詰めるとか、チラシをはさむなど)
- ・生涯学習の意味、根本的なところが一般の人に伝わっていなかったようです。
- ・1年前イベント時、会場が2か所でしたが、野外が小雨で中止となり、全員が1か所に集結後、手持ち無沙汰となってしまった。もし雨の時と想定してスケジュールを組んでいたら、無駄に時間を潰すこと事もなかった。

(4) PRキャンペーンに参加しなかった理由



【図8:PRキャンペーンに参加しなかった理由 (n=116)】

PRキャンペーンに参加しなかった方に、その理由を聞いたところ、「仕事が多忙など、予定が合わなかったから」(36%)が最も多く、次いで、「キャンペーンがあったことを知らなかった」(24%)、「大会期間以外は予定していなかった」(24%)となりました。

「キャンペーンがあったことを知らなかった」と回答した方が、全体の1/4にのぼったことから、PRキャンペーンの周知に問題があったと考えられます。事務局としても、参加する楽しさをもっとボランティアの方に伝えることができれば、さらに多くの方に参加していただけたと思います。

●その他

- ・学生なので、なかなか日程が合わなかったから
- ・PRキャンペーンがあることを知ったのが遅く、近隣の場所は既に終わっていた。
- ・大会期間だけボランティアをやれば良いと思いましたが、キャンペーンには数ヶ所見学に行きました。PRを兼ねて支給されたジャンパーを着て散歩やスポーツをしました。

(5) PRキャンペーンに参加できるようにする方法

①日程などを早めに連絡するなど、連絡方法の改善(主な意見)

各地のイベントから「チームマナビィ」への参加要請は1~2週間前、時には直前であることが多く、ボランティアの方への連絡がメールに限定されてしまいました。しかしながら、早めに日程が決まっていたキャンペーンは、広く情報発信すべきでした。

- ・PRが一番だと思う。直前ではなくかなり早い時期に予定を教えてくれれば参加できたと思う。
- ・キャンペーンの日程表が前もってわかっていたら、1回位は参加したと思う。
- ・キャンペーンの参加方法等の情報が早期から分かっていたら参加できたと思います。キャンペーンに参加するにしても何をやるのかイメージが分かりませんでした。
- ・参加団体の役員だけは承知していたが、末端には伝わっていなかったもので、後から聞こえてきた時はとても残念でした。必ず紙面で情報を流して欲しい。(インターネット不可)

②企画内容・方法の改善(主な意見)

企画内容に魅力がなかったため、キャンペーンに参加しなかった方もいたようです。キャンペーンの企画にボランティアの方にも参加していただき、もっと魅力的なキャンペーンにしていく必要もあったと考えられます。

- ・キャンペーンへの関わり方として、事前準備や会議などにも参加できるというのであれば、空いた時間で何かしら参加できるかもしれません。
- ・PRキャンペーンの企画やアイデアを募集するなど主体的な参加を期待できるのではないのでしょうか。
- ・「全国生涯学習フェスティバル」の意味をもっと詳しくPRを
- ・色々なイベントがあったが、「生涯学習・・・」のためのイベントとは言い難い。
- ・わざわざ出向いていく条件としては、そこから得るものがあるからではないのでしょうか？その得るものとは、楽しさ、体験、物など人によって様々だと思いますが……。また場所・曜日・時間帯にも配慮が必要ですね。

③市町村との連携強化(主な意見)

市報や回覧板などの活用は、キャンペーンだけではなく、まなびピア自体のPRにおいても有効であったようです。また、市町村とともにキャンペーンを企画することができれば、もっと多くの関係者が集まったのではないかと思います。

- ・市の広報には載っていたのですが、友達等は見えていない人が多く知りませんでした。大会チラシや、市の広報とは別に、キャンペーンのための独立したチラシを各家庭に配っていたら、分かり易かったのではないかと思います。
- ・自治会などの回覧板などを利用して沢山の人に見てもらえば良いかと思えます。
- ・まず、市町村との連携をしっかりとることが大事ではないかと思えました。市町村の協力に対する温度差を感じましたので、もっとネットワークがとれる体制が必要だと思えます。

④広報の強化・ボランティア募集方法の改善(主な意見)

ボランティア募集ポスターや募集要項には、キャンペーンへの参加がある旨記載しておりましたが、回答状況を見ると、記載のしかた等に問題があったようです。キャンペーンやボランティア募集など、広報をさらに強化し周知の工夫が必要でした。

- ・各団体を通じてのお知らせが一番分かりやすく検討しやすかった
- ・彩の国だよりに毎掲載せる。駅・病院等にポスターを掲示する。
- ・募集の際に、大会への参加以外にキャンペーンが開催されることを早期に知らせる。
- ・ボランティア申込み者へキャンペーンへの参加を要請すると良いのでは？自宅近くへキャンペーン隊が来る時に参加できれば、より楽しいものになります。

⑤個別に声かけ(主な意見)

キャンペーンへの参加依頼は、なるべく多くの方に連絡するようにしておりました。しかしながら、個別に声かけをしたり、ボランティア研修会等でキャンペーンへの参加をお願いした方が、ボランティアとしても参加がしやすかったようです。

- ・学校や団体に呼びかけていくことでしょうか。
- ・事前打ち合わせ等で、具体的に「声かけ」があればよかった。
- ・説明会に参加をしたボランティアの方にPRキャンペーンに参加するように要請したらよい。(参加、不参加を決めてしまう)

⑥キャンペーンの場所や回数を増やすべき(参加機会の増大を図る)

キャンペーン場所に偏りがあったため、参加しづらかったようです。キャンペーンの回数や場所について検討する必要性がありました。

- ・あらゆる場所で行うべきだったと思います。なぜかというと、私は埼玉県北部に在住しているのですが、北部にはあまりPRキャンペーンがなかったため、参加できず、また南部に行くには時間がかかり、交通も不便だったので行くことができませんでした。あらゆる場所で行えば、どこかには行けるのではないのでしょうか。

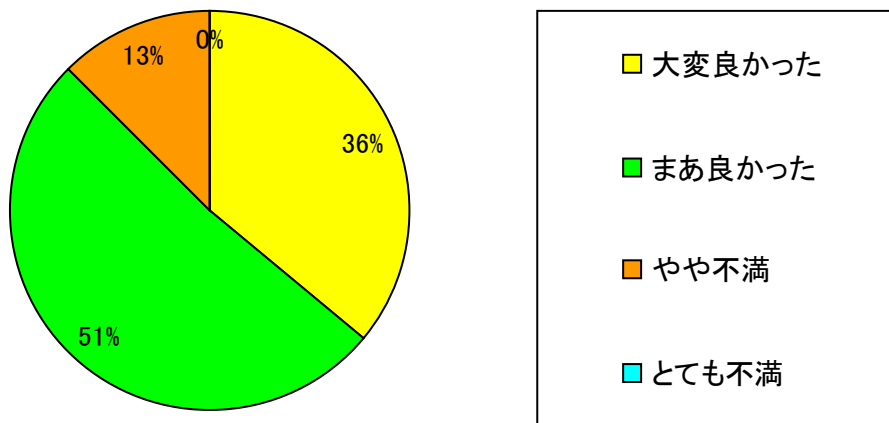
- ・駅や学校・公園等、交通の便の良い所で小規模のキャンペーンを沢山実施したほうが良いのではないか。
- ・各駅前キャンペーンの実施、各学校へ訪問キャンペーンの展開

⑦その他

- ・各団体への説明が不足していた。大会準備担当の人的不足の為かもしれません。組織的に考え直すべきではなかったか。
- ・いつ、どこで、どのようなPR活動をするのかを、始めに全て計画しておき、手紙、ウェブサイトに掲載する必要があると思う。始めから全ての計画をほぼ完成に近い形で出してもらわないと、予定が上手く合わないし、行動しづらい。まず、生涯学習フェスティバルの意味・内容が明確でないのに、どうしてPR活動が行えるだろうか。高い意識をもって、何か目的をもってPR活動することなどできないと思う。そのようなことがあり活動自体にあまり惹かれなかった。

3 大会期間中のボランティア活動

(1) 大会期間中に業務を担当した感想



【図9:大会期間中に業務を担当した感想 (n=111)】

「まなびピア大会期間中に業務を担当してどのような感想をお持ちですか？」と聞いたところ、「大変良かった」及び「まあ良かった」を含めると9割弱近くが、まなびピア業務を担当してよかったと回答しています。「とても不満」と回答した方はおりませんでした。運営等については、次のとおり多くの御意見をいただきました。

(2) 大会運営に関する意見・感想

①運営全般(主な意見)

今回のフェスティバルは共同開催事業が多く、内容が固まるのに時間がかかりました。その結果、事前研修が10日前となってしまい、職員の業務内容の徹底が図れませんでした。国体や高校総体のように、リハーサルができればよりよい運営はできたと考えられます。

また、ボランティアの中には、「仕事量が少ない」という方と、逆に「人数が少ないため休憩が取れなかった」といった意見がありました。ボランティアの方の年齢層が広いこともあり、年齢に配慮した業務配置ができればよかったと考えられます。

- ・当日、ボランティアをまとめてくださっていた職員もわからないことがあり、動けないこともありました。責任者の方の負担が多かったのではないのでしょうか？

- ・ボランティアをまとめて指導する方々に業務内容の理解があまりなく、徹底して指導ができていなかったこと（担当が変わったりして、慣れていない人が多かったせいもあると思う。）
- ・事前研修について、特にスーパーアリーナの下見は参加していてよかったと思いました。すごく細かい業務マニュアルも役に立ちました。
- ・仕事（お手伝い）をする量が少なかった。ただ仕事は少ないののだが誰かが居なければならないので持ち場を離れる訳にはいかなかった。
- ・もう少し人数（ボランティア）が多くいて、交代で休憩ができたなら良かったと思います。
- ・結構、高齢者が多く、その辺の配慮が不足している。

②会場・施設関係(主な意見)

業務担当ごとの人数にバラツキが出ないよう、大会期間中においても人数調整できるような体制を整えておけば、ボランティアの方に休憩中でも会場を確認してもらうなど、円滑な運営を行うことができたと考えられます。今回は特に、さいたまスーパーアリーナが非常に大きな会場である上に、毎日のように会場の転換があったため、内容を把握するのが困難なくらいでした。

- ・会場が大変大きく、初日は迷子になりそうでした。→2日、3日目には、なんとか会場内の道案内もできるようになりました。
- ・会場さいたまスーパーアリーナが広く、もっと自分自身で事前に歩いておけばよかったと反省。
- ・アリーナの出口がわかりにくかった。また、足などが不自由な方、車イスの方、ベビーカーの方などがエレベーターを使用したいのに、場所がわからなかったり、不便だったりしたため不満の声が多かった。

○係別の業務について

総合開会式で「来賓用のシールについて改善した方が良かった」との意見以外の課題は、ほぼ、職員間若しくは職員とボランティア間で情報共有が図れない点と、職員とボランティアの役割があいまいだった点に絞られるようです。

③総合開会式、総合閉会式関係(主な意見)

- ・「総合開会式係」来賓の方のポケット上に付けるシールがなかなかはがれなくて、受付に人が留まってしまいました。シールがもっとはがれやすい簡単なものを使った方が良かったのでは・・・
- ・「入場ゲート係」総合開会式入場者への「声がけ」活動は、多くの方々の反応が感じられボランティアして良かったとおもった。
- ・「入場ゲート係」係全員が集まった時に、担当責任者の方が、「よろしく！」とのあいさつで始めました。しかしながら、入場が終わりそうな時に、いつ終わって帰っていいのか、まわりの人は皆、わかっていませんでした。また、終わりの時も「ありがとう！」のあいさつをいただきたかったです。
- ・「総合閉会式係」閉会式受付はゲートには、来賓対応にふさわしい態度、言葉づかい等ができる人を選んで配置したことと思われ、そのことは大変良いことでした。

④ステージ関係

- ・「野外ステージ係」全国大会のボランティアということで、ドキドキしながら参加しましたが、更衣室係、野外ステージ係とともにほとんどすることがなくて拍子抜けの感じでした。その代わりにメイン会場で行われた自分が関係する演奏会等に参加できたのは良かったです。

⑤場内案内誘導・場内インフォメーション係(主な意見)

- ・係に関してはボランティアの中に、急に欠席する人がいたため持ち場が変わったり、一緒に組んだ人が何も言わずに勝手に休憩に行ってしまったたり、居ても口だけで動いてくれない人がいるため、結局決まった者だけが、休憩も出来ず、ずっと動き回っていなければならないことがあった。(県職員の方が気付いて交代して休憩、食事に行かせてくださり有り難かった。)
- ・配置変更など要望などがあった時の県職員の中心者が判らず対応できなかった。聞いても知らない人もいた。県職員の担当は数人に絞っておいた方が良かった。
- ・職員の連絡がいまひとつ。仕事を取っては悪いと思っているのか、消極的。一般企業から見ればクレームが出るような仕事振り。つまらない仕事でしょう。でも人から見られているし「こんなことも出来ない」と判断される。

⑥場内美化係(主な意見)

- ・場内のゴミは少なく綺麗でした。綿埃が少しありましたが、来場者、参加者皆さんがゴミを出さないように心掛けていたようです。

⑦ボランティア・アンケート係(主な意見)

- ・アンケートの回収等の業務では、高校生が多数いました。なんだか、回収作業が早い者勝ちのようになってしまったので、だれかひとり大人のリーダーがいて、仕事をさらに分担した方がよかったですと思います。
- ・ボラ側が主体となり、県職員の方は、そのフォロー等に廻ってくれたので、ボラ同士のコミュニケーションがとりやすく動き易かった。

⑧場外案内誘導・インフォメーション係(主な意見)

- ・本部スタッフの方となかなか連絡が取れない場面があり、少し困りましたが、その他は良かったと思います。
- ・案内や質問に対してスムーズに対応できるように、あらかじめスーパーアリーナ内での催し物、けやきひろばの出店場所などを業務に着く前に下見しておきたい。
- ・業務の意義が分からないままであった。

今回のフェスティバル全体の背景と問題点として、

- ・職員・ボランティアの参加が土・日曜日・祝日の3日間に集中し、継続して業務を行える方が非常に少なかったこと (日程が細切れでの参加者が多数だったため、毎日まなびピアの概要から説明せざるを得ない状況など)
- ・イベントに慣れている方の割合が少なかった。
(残念ながら、多くのイベントが計画どおりに進まなかったり、常に現場判断で動いたりする。)
- ・共同開催事業が多く、毎日会場の転換があったため、職員・ボランティアが大会を把握しきれなかったこと
- ・大会前日(10/29)などに、下見する機会が設けられなかったこと(恐らく参加できる方が少数)などが挙げられます。

また、今回のアンケートを基に浮き彫りとなった、大会運営上の問題点を総括すると、

- ①職員の問題(業務内容の不徹底。職員間若しくは職員とボランティアとの情報共有が図れない。リーダー不在。)
- ②活動内容の問題(休憩時間が短い、若しくは業務がなさ過ぎ。業務の意義が不明。)
- ③コミュニケーション上の問題(終わりのあいさつがない。ねぎらいの有無。)

以上の点に集約されます。

(3) 自由意見

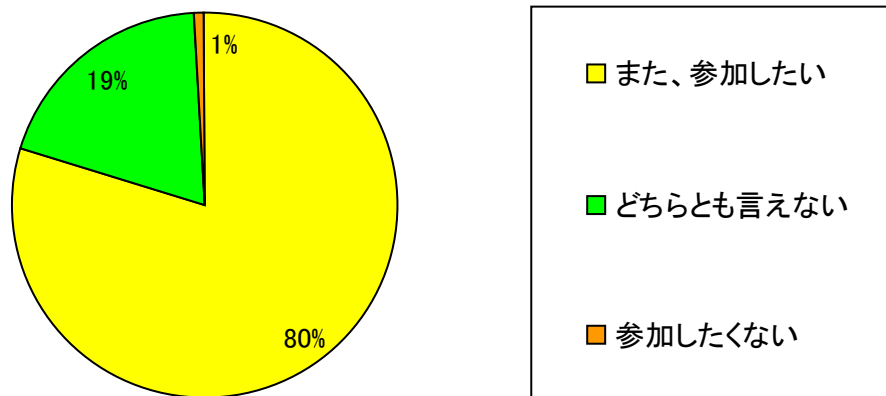
ボランティアの方には様々な形で満足していただけた、いろいろな分野の方と交流できたことに大きな意義を感じた方が多く見られました。しかしながら、事務局など関係者の動きが後手後手に回ると、なかなか計画が固まらず、結局、余裕のない大会運営になりかねません。実際、満足いただけない大会になってしまう危惧さえありました。

常に早め早めの企画・計画・働きかけが重要であり、そのことが余裕のある運営に結びつくものと再認識しました。

- ・ボランティア活動中は家族が非常に協力してくれました。PR活動で市町村でのキャンペーンも楽しむことが出来たこと、学ぶことの基本が生涯学習とのテーマだと分かりました。
 - ・ボランティア間の交流がまた新たな学びの芽になったと感じます。普段は接点のないような分野の方と出会えたことが私にとっては一番の収穫でした。
 - ・ボランティア活動を続けている人達の話が聞けて、ボランティア初体験者としてはとても参考になった。また、まなびピア大会に参加できて楽しかった。
 - ・来場した方との会話や交流につながった。自分もボランティアとして、自分の考えで工夫して対応できたことで自分が活かされ、大会をともに成功させようという気もちをもてたから（場内案内誘導係、下記3点も同係）
 - ・「楽しかった」「来てよかった」との来場者の方々と喜びを共有できたことや場内案内係で多勢の皆様に出会えたこと。
 - ・多くの方々と知り合いになり、いろいろな分野の話がたくさん聞かせて頂くことができました。
 - ・多くのボランティアの方々と参加できたこと。半日又は1日のみの参加の人々と大変大きな大会が運営できたということに驚きを感じています。事務局の御苦労ははかりしれない物があったのではないのでしょうか。
 - ・立ち仕事で大変ではあったが、お客さんと会話することができたので楽しかったです。（場外案内誘導係、下記3点も同係）
 - ・私にとって貴重な体験が出来ました。県の方も忙しく動いてくださり助かりました。会場の様子は昼食時の時間内でしか見学できなかったのも、多く見ることができず残念でした。
 - ・行政と県民が協力し合うことができ、埼玉県を「誇り」に思いたい。
- ☆どこに行けばいいのか不明な点があった。しかし、それ以外は良かった。
- ☆計画を立てるのが遅いと思う。大がかりなことなのだから、早く計画を立てて、内容を深く充実したものにする必要があるのではないか。生涯学習というより、ただの祭り・文化祭のようなものを感じられた。間に合わせの計画ではまいちになってしまうのは当たり前だと思う。

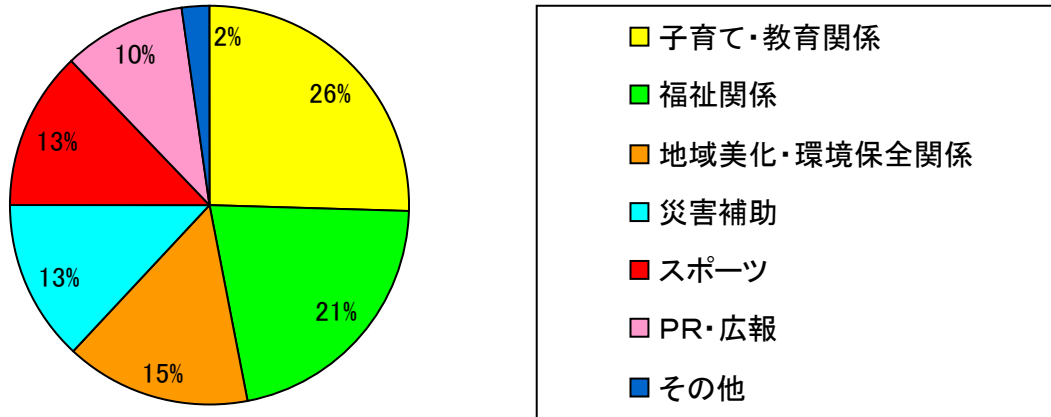
4 今後のボランティア活動

(1) 今後のイベントボランティアへの参加意向



【図10: 今後のイベントボランティアへの参加意向 (n=119)】

(2) やってみたいボランティア活動



【図11: やってみたいボランティア活動 (n=228)】

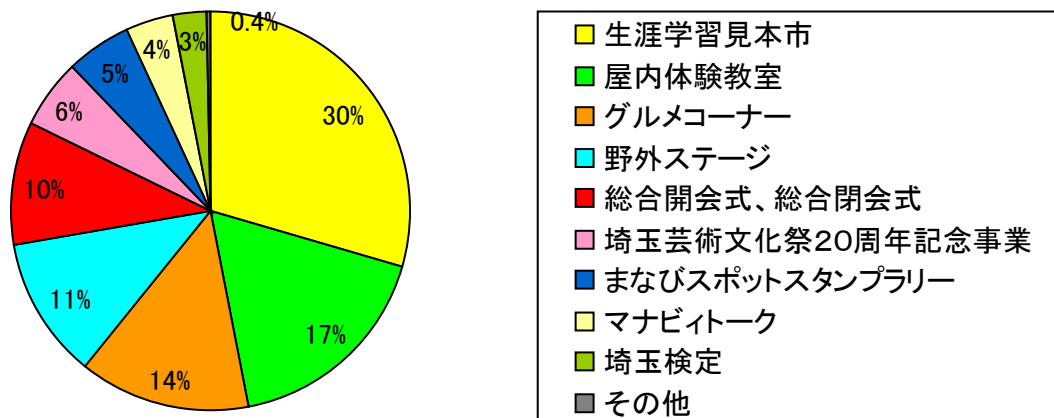
●その他

- ・児童関係のボランティア
- ・マスコット等着ぐるみを着るのであれば喜んで何でも
- ・親育て講座、老人講座に関わること
- ・生活に関連しているもの
- ・何でもチャレンジしていきたい。

今回参加していただいたボランティアの8割が、また何らかの形でボランティアに参加したいと回答しており、ボランティアに参加する楽しさや意義を感じていただけたようです。

また、イベントボランティアに参加したい方に、「やってみたいボランティア活動はどのようなことですか？」と聞いたところ、参加してみたい分野は、子育て・教育関係が全体の1/4、次いで、福祉関係、地域美化・環境保全関係となっており、様々な分野への活動希望があると考えられます。

5 実施した事業で、興味を持ったもの



【図12: 実施した事業で、興味を持ったもの (n=269)】

まなびピア埼玉2009の中で一番興味があった事業は、生涯学習見本市(30%)、次いで、屋内体験教室(17%)、グルメコーナー(14%)となっています。その他としては、「さいたま市小中学校吹奏楽フェスティバル」との回答もありました。

6 「まなびピア」全般、生涯学習についての要望や意見(主な意見)

まなびピア埼玉2009に対して、「参加して良かった」、または「継続して欲しい」、さらに「目的をもっと明確化すべき」、「ボランティア主体で企画するイベントの実施」など、生涯学習の一環としての位置づけが必要との意見がありました。また、もっと効果的にPRができれば来場者がさらに増えたのかもしれない。

また、参加するボランティアの方は、企画段階から携わりたかった方から、事務局できちんと計画したうえで参加したい方までと、様々な意向を持って参加されたことを改めて確認できました。なるべく多くの方と接点を持ち、その意向が反映できれば、よりよい大会にすることができたと思われれます。

イベントには予算・時間・人などの制約が付きものですが、まなびピアでは、多くのボランティアの方に支えられ、様々な課題はありましたが、大会を無事終了することができました。

何より、多くのボランティアの方に満足していただけたことが、フェスティバル一番の成果だったのではないのでしょうか。

(1) イベントを続けて欲しい

- ・大々的でなくても良いですから、県内を何カ所かに分けて小規模で良いから続けて欲しいです。
- ・生涯教育を何等かの形で継続させられる様なイベントの開催を

(2) 物足りない。もう少し工夫を

- ・一般の方がさらに楽しめるよう、参加型のイベントをもっと入れた方が良かったと思います。
- ・イベントに参加して市町村のトップの方の生涯学習に力を入れ具合で一生懸命の所とそうでない所が見うけられる。(上の方の熱意で物事がきまる。)
- ・できれば、ボランティア主体のイベント等を作り、自主的な活動を推進したらいいのでは？(本来は企画の段階から入ることも)
- ・「生涯学習」と言っても、その意味は広いのだから、そこを詳しく説明したうえで、目的をもっと明確にして活動をしないと、良い結果は出ないと思う。
- ・長袖のスタッフジャンパーと袖のないものベストの2着をいただきましたが、1着でいいと思います。その分お茶1つかコーヒー1杯いただけると良かったと思いました。また、記念写真などいらなと思います。

(3) 広報・PR不足！

- ・来場者から、こんなに良いイベントなら、もっと事前PRがあれば、何度も来たのに残念！との声多数。
- ・気がつけばたくさんPRしているのですが、興味のない方に気づいてもらえる工夫が必要
- ・メイン会場についてのPRは良いと思うのですが、各市町村のPRが足りない。自分の住んでいる市の見本市を見てショックだった。誰が携わったの??と思うほどでした。一部の人で作っている感があり、残念だった。

(4) 楽しかった。良かった。

- ・自分の興味や関心だけではなく、あらゆる分野にわたっての学びを体感することができ、大変楽しく過ごすことができました。まなびピアそのものは一過性のイベントとみることもできますが、参加した人の中に未来につながる何かを残すことができたのではないかと思います。ここで得たものをつなぐことができるよう、今後とも学びの気持ちを持ちつづけたいと思います。
- ・ボランティアは楽な役目と大変な担当があったようですが、全体的にみなさん楽しかったようです。このようなことがないと、なかなか大きなイベントに参加できないので、喜んでいただ方が多かったです。
- ・県には引き続き、地についた身近な活動を推進し、「学びのきっかけ」を提供してほしい。
- ・埼玉県のアピールにもとても良かったと思います。自分たちが住む県を、特に身近に感じられるようになりました。今後もぜひ、多くの方が参加し、町づくりの活性化につながってほしいと思いました。

資料

その他、皆様からいただいた意見

2 PRキャンペーン

(3) PRキャンペーンに参加して、良かったことや改善点

●良かったこと

- ・初めてボランティアに参加させていただきましたが、事務局のみなさんのお心遣いのおかげでも楽しく参加させていただきました。どうもありがとうございました。
- ・大勢の方々が来て、子どもから大人、外国の方が来てくれました。
- ・主に着ぐるみ「マナビィ」担当だったのですが、「動きがいい」「かわいい」と言われたのがうれしかったですね。
- ・着ぐるみに入っている方の心労は計り知れません。
- ・越谷市のサービスが良かった。旗（のぼり）を持って街を行進したのも楽しかった。
- ・改善点は特にないです。
- ・皆さんがまナビピアの為に一生けん命がんばっていることがわかったことが良かった。
- ・自分のやる気を煽っていただいた。
- ・楽しく訪れてくれる人を見られて良かった。
- ・ボランティアならではの「まったり感」がよかったです。こんなにアバウトでいいのかな？と思うほどでしたが、とてもよい経験ができました。
- ・各地域イベントの時に、集合方法など具体的に（交通手段など）教えていただき、助かりました。初めて行く場所ではオロオロするばかりですから

●改善点

- ・欲を言えばもっとPRを増やしてマナビィを出す機会を増やしてほしかったです。
- ・チームリーダーの指揮でボランティアの意気も盛り上がるスタートのあいさつ、ボランティアの目的をきちんと自覚させてくれる流れが欲しかった。解散もけじめをつけて欲しかった。
- ・結団式にいただいたベストは、その後、使うことがなかったです。経費の無駄でしょうか？
- ・交通費ぐらい出ないのかと要望したい。
- ・表示物をもっとわかりやすい方法にするよう考える。
- ・生涯学習のネーミングは覚えづらい面があります。

2 PRキャンペーン

(5) PRキャンペーンに参加できるようにする方法

①日程などを早めに連絡するなど、連絡方法の改善

- ・参考資料を拝見しますと、早い時期から、たくさんの地域でPRキャンペーンが行われたことを知って、申し訳ない気持ちです。ただ、自宅近辺で情報キャッチ出来なかったのが残念です。
- ・今回すべてのPRキャンペーンは予定が重なって参加できませんでした。もう少し早めに日程のお知らせがあれば参加できたかも・・・と思います。
- ・日程を早めに決定し、各地で行うこと。それを周知すること。同封の書類をみると自宅近くで沢山あったのに知りませんでした。
- ・ボランティアの方に知らせてほしかった。（知らなかった。）

- ・チームマナビィへ参加予定の人にもPRキャンペーンについて、もっと連絡があると良い。都合がつけば参加したかった。
- ・PRキャンペーンについて、もう少し連絡が欲しかった。
- ・もう少し前もって知らせてほしい。
- ・事前にキャンペーンがあることを知らせる。
- ・予定が早めにわかると良いと思います。
- ・情報が少なかった。(近くでのキャンペーンの情報はない。)(説明に出られなかったので、キャンペーンがあったことを知らなかった。)
- ・早い時期からのPRが必要かと思います。
- ・イベント会場に出向くとなれば予定調整に少なからず苦勞することになるので、時間や場所が自分に合っていれば出られるということだと思います。
- ・場所とスケジュールをもっと皆さんに知らせる。周知できるようなポスターを作成するなど工夫すると良い。
- ・いつあったのかわからない人も多かったと思う。各地のキャンペーンの予定を流してほしかった。

②企画内容・方法の改善

- ・キャンペーンの必要性を伝え、大人から子供まで自由に参加出来る様にする
- ・キャンペーンでは、どのようなことを行うのか、具体的に活動方法を知らせる。
- ・参加方法等の情報が詳しく入ってくると参加しやすいと思います。
- ・同じくらいの年齢の人がすごく少なくて参加しづらい。土、日の開催日をふやしてほしい。
- ・大勢募集されても、当日出席されなかった方が多く、大変でしたので確実に出席出来る方を・・・
- ・参加人数を集める方法の計画をしてない。参加人数を集められる方法を計画されることが望ましい。
- ・拘束時間が短ければ参加する機会も増えると思う。打ち合わせの時間がムダに長いのでは。

③市町村との連携強化

- ・市町村の協力が一番ではないかと思っています。
- ・市町村がもう少し盛り上がればよかったのではないのでしょうか。(盛り上がっていたのに、私が知らないだけだったとしたら・・・すみません。)
- ・市町村の広報紙に少し大きな字で載せてもらおうと良いかと思う。
- ・市町村の図書館、公民館など女性が多く集まる場所などを利用して良いのではないのでしょうか。口コミというものは意外に広まるかと思っています。
- ・市町村単位など、少し狭い範囲の活動が望ましい。
- ・参加団体や地元の皆さんの協力をいただくこと
- ・ホームページでキャンペーン場所が確認できても、その場所に行って具体的な場所を地元に向っても判らない方が多かったので、関心が無かった人が多いと思う。地域でのPRが必要
- ・市町村への呼びかけがもう少しあったら・・・とも思いますが？

④広報の強化・ボランティア募集方法の改善

- ・ちらしや貼り紙
- ・ネット等のメディアで参加募集を呼びかける。
- ・大会期間中とキャンペーン等の期間を、ボランティアの登録する際に、掲示・告知しておいた方が良い。
- ・ボランティア募集時で「PRキャンペーンをやるので、参加できる方は参加して下さい」等と告知する。

⑤個別に声かけ

- ・声かけを沢山したら良いと思います。
- ・ボランティア登録者への連携を密にする、事前の呼びかけが必要。また、終了後のねぎらいが継続されると思う。やってよかったと思われるとうれしい。
- ・その地域にいるボランティアの方々に声がけお願いすればいいかなって思います。
- ・親への告知が大切

3 大会期間中のボランティア活動

(2) 大会運営に関する意見・感想

①運営全般

- ・研修会はありましたが、全員参加は出来ない為、当日のみの方も多かったと思います。（県職員の場合は特に）本番で簡単な打ち合わせで一日がスタートするので、束ねている数名のヘッドの方々の心労は大変だったのではと危惧致しておりました。大きなイベントで、多少のミスはあったはずですが大きな混乱もなく、無事終了出来て、本当に良かったです。
- ・事務局に少し不安もあったと思いますが、ボランティアをもっと活用してよいのではと思います。
- ・楽しく活動できた事は良かったです。みんな大変な中頑張ってボランティアしてくれたので、せめてペットボトル1本ぐらゐのサービスがあったらいい！という意見を多くいただきました。
- ・事前研修に参加できなかった人に資料が用意されず、当日の仕事や予定がわからなかった。
- ・資料を受け取った時期により、同じ業務でも指示事項が異なっていたため、混乱がありました。
- ・フェスティバル期間中、3日間通いましたが自由時間が余りなく、そんなに体験できなかったのが残念でした。
- ・屋内と屋外ではかなり条件が違う。天気が悪い時に1日外は厳しい。
- ・期間中事故がなかった。非常口の担当は必要がない。（警備員で充分）
- ・業務負担をもっと早い時点で決め（希望を聞いているからではなく、先に割り振る）どうしても変えたい方だけ変更すれば連携やシミュレーションなど、しやすかったのでは・・・？と思う。

②会場・施設関係

- ・ボランティアジャンパーを着ているだけで、何でもわかると思われ来場者の皆さんには色々と質問されるのですが、会場内のどの位置にどのブースがあるかなど自分が把握出来ていないので、お答えに時間がかかってしまってお迷惑をおかけする場面もありました。事前研修の時にアリーナは見学しましたが、あまり参考になっていなかったように感じました。集合時間前や、交代して等会場内を見学する時間があると良かったように思います。
- ・会場内の一部わかりにくい通路があり、初めのころは慣れないせいか迷いました。（来場者にもわかりにくかったのでしょうか、よく聞かれました。）
- ・屋内体験2Fコンコース、階段等、出口がわかりにくく危険を感じた。バリアフリーではなかった。人にやさしく、学べる環境はイベントでも大事と思いました。
- ・アリーナの利用法が少しわかりましたが、入口についてはわかりにくかったです。
- ・アリーナのエレベーターの位置がわからず、ベビーカーの方が困っていました。（裏のエレベーターを使っていただきました。）
- ・休憩場所をもっと作っておいてほしかった。遠くて大変でした。
- ・会場が大変広く、天気が悪い日は屋内が大変混雑していた。少し空気がこもっていました。

③総合開会式、総合閉会式関係

- ・「総合開会式係」出演者管理担当の係をさせていただいて、スムーズに出演者を誘導でき、出演者の方々と親睦が深まった。
- ・「入場ゲート係」受付での際のシールでは、切り込みが入っていないものもあり、シートからスムーズにはがれなかったこと、シールにマナビィの絵が入っているので、上・下・左右を見分けて貼るので手間取ったこと。来場された方にすぐ貼りたかったが、予想しなかった作業が必要となりました。苦勞している私達の様子を見ていた、次回の開催地の視察団の方々が『これは、大変参考になりました。』と言って帰られた姿が印象的でした。必要経費の削減をさげんでいる中でシールに絵などを入れるのは、残念です。
- ・「入場ゲート係」入場ゲートの担当だったので来場者の方に質問されることが多かったが、全てに答えられず、もっといろいろ勉強しておくべきでした。
- ・「入場ゲート係」業務時間帯を考えてほしい、休憩は午前2回午後2回ぐらいほしかった。
- ・「入場ゲート係」各部所に人数がいたので、業務がスムーズに行われた。
- ・「総合閉会式係」閉会式の来賓受付は、緊張したが仕事感があった。

④場内案内誘導・場内インフォメーション係

- ・職員の人数が足りなくて、急きょ、報道関係の案内をしましたが、それがとても良かったです。以前、イベントの仕事をしたことがありましたが、物足りなかったので、今回は楽しめました。
- ・時間で交代する場合、高齢者、病気を持った方がいるので、担当場所を含めて人員面で配慮して配置すべき。また、人によって指定場所から勝手に離れてしまう人が見受けられた。
- ・自由な時間ができるよう、2人位での業務が出来たら良かったと思いました。また、休憩時間がもう少し長くして欲しかった。
- ・場内案内アプローチが不安で、観客に対して我々も大変迷ったこと
- ・集合場所があいまいだった。

⑤場内美化係

- ・一般のお客様に労をねぎらっていただいたり、事務局の方々、県の職員の方々にはとても気を使っていたいただき楽しくボランティア活動に参加することが出来ました。有難うございました。また良い勉強になりました。
- ・一緒にやった人がいい方達でした。

⑥ボランティア・アンケート係

- ・出会い、ふれあい、学び合い・・・多くの人と接することができた。「来年は高知へ来てね」と声をかけられた。大会期間5日間はとても楽しかった。
- ・大会にボランティアとして参加出来たこと、まなびピアの見学も出来たことが良かった。
- ・自分が関わったブースを見学したかったが、業務担当場所から動けないため、見学できなかったのが残念でした。

⑦場外案内誘導・インフォメーション係

- ・ビニール袋にパンフレットなどいろんな物が入っていたが、手間の割には、欲しい物が少なかったように思える。案内用地図など単品でもらえる(欲しいと思える物だけ)と良い。宣伝用はイベント会場で配るなどした方が良い。
- ・担当した日が小雨模様の肌寒い日和でしたので、来客の方が少なく、パンフレットが残ったようでした。
- ・2日間担当したが行政局の人だからかと思うが、横の連絡が取れてなくてつまらない思いをした。2日目の担当者が全くいいかげんで自分を含めて多数のボランティアが迷惑した。

⑧その他

【良かった】

- ・県をあげての大会は、自分なりの協力ができた点、良かったと満足しています。
- ・スタッフの方々がとても頑張っていて頭が下がりました。
- ・大会運営までのご苦労がよくわかりました。
- ・3日間“チームマナビィ”として参加しました。日常生活では出会えないような方々と同じ目標を持ち、取り組めたことは、私にとって大きな宝物となりました。参加することができ、本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・一緒に活動した方々と連携を持てたこと（若い人との交流が持てた）運営の裏方の大変さを知り得た事で今後こういう場への参加（出席）の時は自分なりの配慮ができると感じました。
- ・良かった点は、知っている県職員の方々と仕事ができただけで、青いスタッフジャンパーをあらかじめ、学校職員にも配布してほしい。
- ・中心者の指導の仕方です。PRの盛り上がりが決まると思う。
- ・沢山の人のなかで何かをするということで、とても良かったと思います。
- ・人との出会いが出来たこと。
- ・たくさんの方々と出会えた。
- ・皆さんと友達になれ、楽しく仕事できました。
- ・何をやればいいのか分からなくなってしまうような状況がなかったので良かったと思いました。

（以下、場内案内誘導・場内インフォメーション係）

- ・場内案内誘導で、出口もわからなかった人が多くて、（年配の方や子供達に）案内できたこと・・・大変良かったと思う。
- ・個人の都合を聴いて時間などの配慮もいただき無理のないお手伝いできました。
- ・自分がボランティアをしていなかったら、その場所に行かなかったと思います。大勢の方々来られて、びっくりしましたし、参加してよかったなと思います。
- ・たくさんの方々に笑顔で声がけをしたところ、多くの方が気持ちよく受け入れ下さり、大変やり甲斐がありました。
- ・この大きなイベントに参加でき大きな感激と喜びを共有できたことは、これからのボランティアに大きな力にできると思えたこと
- ・地元の行政担当者等の活躍ぶりを垣間見たこと。また、今回の行事に関心を示した地元の人々と接触できたこと
- ・事務局のご指導のもと、ボランティア業務の担当を楽しく行うことが出来ました。実行委員会事務局を中心に県職員の方々の連携により、いろいろと細かい場面まで想定された企画は本当に大変だったと思いますが、ボランティアの各係に対する指導がよかったと思います。

（以下、場外案内誘導・インフォメーション係）

- ・多数の方の来場でパンフレット配布が不足し、一時中断する程になった。
- ・ご案内の仕方等、勉強になりました。
- ・楽しかった。人の役に立つと云う実感が有り、満足感が得られた。
- ・多くの方（客）に会えて良かった
- ・たくさんの方とふれあえたこと
- ・生涯学習フェスティバルの内容も知らずに終わらず、勉強になりました。
- ・多くの来場者を観察できた。（どこからいらしたのか、どの様な年代の方々か。目的はなにか等）（でもイベントへの参加は多く出来ず残念でした。）
- ・来場者の案内誘導に多少でも役立てた。
- ・突風に見舞われ一時心配しましたが、案内板に重石を載せたりして現場対応ができ良かった。
- ・広範な企画で主催者側にとっては大変なご苦労があったと痛感し感謝に絶えません。場外案内係としてアリーナ入場口に立っていた時に確か岩手県（次期開催県？）の職員の方からボランティア

アとしての関わった動機や現在の活動についていくつか質問されました。私は楽しみながらお手伝い出来たこと有難く思います。

【良くなかった】

- ・ステージでイベント待ちが多くて、マナビィでグリーティングをする時間が少なかったのが残念です。
- ・マスコットは目立つのですが、声援が今イチだった。マイクは使ってはいけなかったのですか？（これは、キャンペーン中のことでした。）
- ・アンケートをもっと早くいろんなことを忘れない内にして欲しかったです。

6 「まなびピア」全般、生涯学習についての要望や意見

(1) イベントを続けて欲しい

- ・毎年、生涯学習フェスティバルをやって欲しい。
- ・とても良いイベントなので続けてほしい。どこの会場で何が行われているのかわかりづらい。

(2) 物足りない。もう少し工夫を。

- ・県立博物館の体験コーナーも一日手伝いましたが、もう少しスペースがあった方が良くと思いました。ボランティア以外にも開会式の850人合唱も参加しましたが、待ち時間が長く、他のコーナーを見ることも出来ず、時間を区切ってコーナー見本市をもう少し見たいと思いました。また、開場裏側で待っている時間に開会式、ステージなどモニターで見ることが出来たら有意義でしたでしょう。
- ・もっと体験的な場が増えると良いと思います。楽しく学べるよう工夫すると良いと思います。
- ・地元の多くの行政担当者や教育関係者が更に関心を持ってもらいたかった。このイベントに参加しない上記の人々のレベルの低さを痛感した。
- ・大変、大きなイベントの開催でしたので、県の方としても、ご苦労が多かったことと思います。ボランティアへの対応の仕方としては、数が多いこともあり、配慮が充分に行き届くこと自体不可能なことなのかもしれません。ただ、お弁当とお茶、1本出すのだから、1日、作業に就くのは当然だろう！の空気を、感じてしまいました。大成功して良かった！関わって良かった！との思いが、湧いてこなかったのは、残念です。年齢にもよるのかもしれませんが・・・
- ・開催前から実施していた「埼玉検定」のプレゼントはあまりにもお粗末でした！わざわざそのために来場して下さった方々に申し訳ない気がした。
- ・生涯学習見本市に行ってみたが、出展している側の人々はただ紹介しているだけで「活動報告か？」と思うような内容が多く、「生涯学習」の目的がつかめていないように感じられた。ただボランティアとして参加している人もいれば、生涯学習について学ぼうとする学生もいるのだということを考えて欲しい。ただ人が集まればいいってそんなもんじゃない。参加する人の意識・意欲を上げる明確な目的・計画を出して、一人一人が成果を得られるような内容にしてほしかった。
- ・研修を何回も受けましたが、あまり参考にならなかった。時間の無駄、交通費の無駄となった。他県の人との接触がなかったので残念！！
- ・たぶん芸術文化祭の時だと思うが、「場所がわかりにくい」、「やっとたどり着いたとき、座る場所がなかった（高齢者の方もいたが）」、「場内整理の案内が悪く、効率的に人を座席に案内できない。」、「けやきひろば等で整理券を配布する」等考えた方が良い。

- ・全般をみていないので良く判らないが、幼児コーナー、小・中学生コーナー、高校・大学コーナー、一般コーナー、老人コーナー等に分けてそれぞれの年代に合わせた学習・体験・ステージ等つくれば混雑が緩和出来各自目標を絞り易いのではないか。

(3) 広報・PR不足！

- ・とても楽しいイベントだったと思います。ただ、私の知人など知らない人が多くもっと多くの方に知っていただければよかったなと思いました。
- ・さいたま新都心ご来場の方々（関係者以外）は県内のどの地域の方が多いですか？又、県全般には「まなびピア」の各行事等関心の割合はいかがでしょうか？知っている人は知っているし、関心のない方はない、と分かれているのでは？近所の方が参加したとはどなたも話していませんでした。
- ・まなびピアをもっとアピールして知ってもらおう努力をしたら・・・
- ・中年以上の一般の方々への呼びかけが足りなかったように思う。（参加してくださった団体よりも一般の方々のことです。）
- ・ボランティアに参加することになって初めて「まなびピア」を知った。一般的に認知度がかなり低いように感じた。関係者のためのイベントのように見えてならなかった。生涯学習を旗印にするイベントをわざわざ開催する必要があるのだろうか。まなびピア自体は楽しめたので、趣旨を替えた方がいいのでは？
- ・関係している家族や友人が主に参加していたと思います。一般の人々に対する「生涯学習」の理解や関心を深める活動が大切と感じました。
- ・他のことはわかりませんが・・・スーパーアリーナ内のステージや野外ステージへの集客が足りなかった。土日はまあまあとしても平日はガラガラだった。友達に聞いたら“知らない”人が多かった。こんな立派な催し物で県職の方々も出席者も一生懸命だったので、残念に思った。“電通の責任では”と正直感じた。
- ・県内をはじめ全国的に知らない人が多いことに気付いた。アピール不足では？

(4) 楽しかった。良かった。

- ・全国からお客を迎えてのイベント運営は大変だったと思います。少しでも、お手伝いができ、うれしく思います。
- ・充実した内容だったようで、自分も見てみたかったと思った。生涯学習といっても自分が想像していたのと異なる部分も多く、一般の方には楽しめたのだと思いますが、もう少し深く考えられるようなイベントにできれば、なお良いと思います。
- ・自分が何かに役立つことを体験することで、自分の学びが生かされる気がします。それが学びの連続につながると思います。
- ・野外ステージ係として参加しましたが、出場するサークル（団体）の皆さんは女性が多く、しかも積極的で男性も積極的に参加すべきだと思った。
- ・会場のイメージが開催中と打合わせではかなり違った！人に圧倒され、雰囲気と仕事になれた頃に閉会した。
- ・このたび、全国生涯学習フェスティバルの事を知り、また全国各地で順番にバトンタッチされているということもわかり、素晴らしいことだと思いました。
- ・生涯学習に触れ合える機会が増えるとうれしいです。
- ・所々の参加でしたので、垣間見る機会が少なくなり残念でしたが、今後も何かいろいろと協力して、自分も刺激を受けて頑張りたいと思います。
- ・参加するだけでも楽しいイベントにチームマナビィとして参加でき、本当によかったです。ありがとうございました。